

九州のなかま

2011-17

春闘情報: NO. 1

発行日 : 2012年1月24日(火)

発行者 : 生協労連 九州地連



講師の伊藤さん

2012年春闘にむけて意志統一!

1月21日(土)~22日(日) 大分・別府湾ロイヤルホテル

2012年春闘スローガン

賃上げ、最賃 1000 円の実現で内需中心の経済、
震災復興の実現を
パート法の抜本改正で均等待遇の実現を
すべての働くなかまにディーセントワークの実現を



湯煙が立ち上る温泉の街、別府に九州各地から 174 名のなかまが集いました。参加者は、目の前に広がる別府湾を眺めつつ、2012 年春闘にむけての熱い思いを抱いて春闘組合学校に臨みました。市原委員長の開会挨拶、開催県代表・コープおおいた労組安藤委員長の挨拶に続いて、さっそく春闘方針の提案が行われました。生協労連桑田委員長より、「2012 年春闘は、震災春闘、東北の復興支援を続けながら、今までとは違った情勢の下で闘う。大震災、原発事故から 1 年、大企業にはやさしく被災者には冷たい政治、深刻化する労働者の実態、最賃 1,000 円以上の実現、パート法の実効ある改正を…、事業も職場も大変、私達の職場の展望を切り開き、賃金の底上げをめざそう」と、2012 年春闘をめぐる情勢について提案がありました。

九州地連春闘方針について久保書記長から、「生協で働くすべての労働者の賃上げ、底上げ・ベースアップの実現。すべての単組で時給 1,000 円以上の要求を掲げ、その実現をめざします。すべての単組が要求(書)を提出し、賃金・労働条件の前進をめざします」、との提起がありました。続いて福丸副委員長より、2・9-10 中央行動の呼びかけ、4 つの署名(消費税署名、パート法署名、ディーセントワーク署名、原発署名)の取り組み等、方針の補強及び行動提起が行われました。その後 11 の分科会に分かれて、テーマ毎に学習や熱い議論が交わされました。



大学部会の分科会

2 日目は、「暮らしと経済の改善をめざす私たちの賃金闘争」と題して全労連常任幹事の伊藤圭一さんによる講演が行なわれました。日本社会が直面している課題、春闘をめぐる情勢等、この間の推移を、図表を使って解説されました。そして 2012 年春闘では、要求討議・要求作り・要求提出・団体交渉をしっかりと取り組もう、と述べられました。



福祉・介護の分科会

各単組委員長の決意表明では、「厳しい状況に変わりはないが、賃金の底上げを要求していく、非正規のなかまの処遇改善など、力強い発言が続きました。2 日間学んだこと、なかまと論議したことを単組に持ち帰り、生協の事業と運動の展望を主体的に切り開きましょう! 将来を見据えて働き続けられる春闘に、私達の未来(明日)を創るたたかいをなかまとともに元気に取り組みしましょう!

お願い: 2012年春闘関連の取組み 他の情報を地連まで FAX: 092-947-9193